临沂市概況

【基礎情報】（2024年）

- 人口：1094.38万人（省内1/16位）
- 面積：17191㎢（省内1位）
- GDP：6555.79億元（省内5位）

空席

2025.2～

【党委書記　空席　】

（前任：任剛・青島市市長）

【市長　張宝亮】

1972年3月生まれ、濱州出身
2023年1月～現職

（前任：孟慶斌・青島市政協主席）

2025年2月

【歴史的エピソード】

◆諸葛孔明（三国時代）、王羲之（東晋）の生誕地。

◆沂蒙地区は、日中戦争及び国共内戦時の中国共産党の革命根拠地。

◆1970年、漢代の墓から「孫子」（孫武による兵法書）が出土。

◆1989年、临沂市から日照市が分離して地級市に昇格。

◆地名は市内を流れる沂水という川の名に由来。

【現在の特徴】

◆山東省で人口・面積ともに最大。人口は中国の行政区でも10位以内。

◆気候が温和なため農業・林業が盛ん。中国最大の木材産業基地の一つ。

◆近年は物流ハブとしても有名で、「南の義烏、北の臨沂」と呼ばれる。

◆特産・名物：缶詰（販売量は全国の1/3）、金銀花（生産量は全国1位）、蘭陵県のニンニク、莒南ロバ肉（山東省内では聊城市・高唐とともに有名）、魯南五大調（郯城県に伝わる音楽形式）等。

【日本との関係】

◆在留邦人数：8人（2024年10月現在）

◆友好都市：なし

◆ODA：沂南県孫祖中学校校舎建設計画を含む草の根・人間の安全保障無償資金協力2件の実績あり。

【日本とゆかりのある地・施設】

◆王羲之故居

古代から現代に至る著名な書家の書体を石碑で紹介する一角に、日本の書家・柳田泰山氏の作品もある（外国人は柳田氏と韓国人の2名のみ）。

柳田泰山HPより

【観光地】

◆王羲之故居
書聖と呼ばれる王羲之は紀元前303年に当地で生誕。明の時代に現在のように造園式に建設された。洗硯池も見所の一つ。

◆蒙山
市の北西に位置し、山東省で最も広く、泰山に次いで二番目に高い山（海抜1156メートル）。

◆諸葛孔明政里記念館
諸葛孔明はこの地で13歳まで生活していたとされる。敷地内は祠があるが、周囲を含め特に観光地化はされていない。

【グルメ】

◆光棍鶏
鶏の煮込み料理。発祥の沂蒙山区で料理人が男性、鶏も雄のみだったことから光混（ごろつき）の名前が付いた。

◆全羊湯
沂蒙山区の伝統料理。現地産の黒山羊を使い内臓や血も一緒に煮込んだもの。

◆紅焼兔頭
蒙陰県の伝統料理。ウサギの頭をピリ辛に煮込んだ料理は栄養補給に適し、視力の改善にも効くとされる。